

「歌舞伎はネット配信でもみてほしい 松本幸四郎氏が新しい上演法に意欲」

新型コロナウイルス感染は、日本の伝統芸能「歌舞伎」界にも深刻な影響をもたらしている。3月から5カ月間、唯一の専用劇場「歌舞伎座」をはじめ、全国の劇場での公演が中止となり、8月ようやく歌舞伎座での「八月花形歌舞伎」で舞台公演が再開された。10月には国立劇場と合わせ東京だけで二つの舞台公演がみられる。歌舞伎界をけん引する俳優の一人と見られている松本幸四郎氏が15日、日本記者クラブで記者会見し、この難局に自身および歌舞伎界がどのような対応を迫られているかについて率直に語った。幸四郎氏はその日の公演を終えて歌舞伎座から記者会見場に駆け付けた。舞台公演ができなかった間に挑んだビデオ会議システムを活用した歌舞伎配信という新しい取り組みを紹介し、「生の舞台と両立する映像としての歌舞伎を確立したい」と強い意欲を示した。



新型コロナウイルスが歌舞伎に与えた影響について語る十代目松本幸四郎氏（日本記者クラブ）

#### 最後の同時襲名記念公演中止に

松本幸四郎は江戸時代から続く歌舞伎役者の名跡。「高麗屋」という屋号で知られる。松本幸四郎氏は十代目を2018年1月に襲名した。同じ日に二代目松本白鸚を襲名した父親の先代幸四郎氏は、米国のミュージカル「ラ・マンチャの男」の主役を国内で50年間、演じ続け、公演数は昨年10月まで1,300回に上る。1970年には本場ブロードウェイでも英語で演じて好評を得るなど活動は歌舞伎に限らない。後を継いだ十代目幸四郎氏も花のある実力派と知られ、出演した映画で日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞するなど父親同様、歌舞伎以外の分野での活躍でも知られる。



二代目松本白鸚、十代目松本幸四郎、八代目市川染五郎（右から、2016年12月8日、親子三代同時襲名披露興行を発表した記者会見で）＝提供：松竹

松本白鸚、幸四郎父子の生活が一変したのは、新型コロナウイルスのため歌舞伎座公演「三月大歌舞伎」（3月2～26日予定）と、4月11日から26日まで香川県琴平町の金丸座で行われる予定だった「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が相次いで中止となってからだ。二代目松本白鸚、十代目松本幸四郎、さらに八代目市川染五郎（幸四郎氏の長男）の親子三代同時襲名記念公演が、2018年1月と2月に歌舞伎座で行われた。その後、全国各地で同時襲名記念公演が開催されている。4月に松本白鸚、松本幸四郎襲名披露と銘打った「四国こんぴら歌舞伎大芝居」を予定していた金丸座は、現存する日本最古の芝居小屋と言われる。「高麗屋」同時襲名記念公演の最後を飾る舞台になるはずだった。

「どうしたらよいか思いつかない毎日を送った。歌舞伎が再開された日に備えて準備をする気持ちになれず、歌舞伎がなくなってしまう夢までみた」。記者会見で幸四郎氏は、突

然、活動の機会が奪われた当時の苦しい胸の内を率直に語った。



歌舞伎座（東京都中央区銀座）

歌舞伎の運営会社である松竹がまず考え出したのが、YouTube の松竹チャンネルで「三月大歌舞伎」で予定していた五つの演目を無観客で演じて映像に収め、無料配信する試み。幸四郎氏は、夜の部最後の演目である「伊賀越道中双六 沼津」で十兵衛という役を演じることになっていた。父の二代目松本白鸚氏が演じるのが平作という役。それまで離れ離れに暮らしていた平作と十兵衛が実は親子だったという芝居である。映像収録は歌舞伎座で行われたが、途中、平作、十兵衛父子が二人で舞台を降りて客席の間を歩く場面がある。誰もいない客席を白鸚、幸四郎父子が歩く姿をカメラは収めた。

「2日間かけて行われた収録が終わった3月20日、幕が下りた時に役者の無力感を感じた。舞台がないと何もできないのでは、という」。幸四郎氏はその時の心境を明かす。しかし、歌舞伎座を出たときに、気持ちは変わっていたという。「今度、来るときは客席を満杯にして戻ってこよう」と。

#### 初の有料ネット生配信歌舞伎を構成・演出、出演も

幸四郎氏が、さっそく挑戦したのが、歌舞伎史上、初めてのオンライン生配信だった。新型コロナウイルス感染拡大を機に世界中で多くの人を使い出したビデオ会議システム「ZOOM」を活用した試みで、システム名をもじって「凶夢歌舞伎 忠臣蔵」と名付けた。もともとは松竹の社員有志から出されたアイデア。これに幸四郎氏が賛同、構成・演出を引き受け、自ら出演するという中心的役割を担った。チケット販売とライブ・エンタテインメント事業を営むイープラス社の有料ライブ配信サービス「Streaming+」（ストリーミングプラス）で見てもらおうという方式だ。最大の特徴は、「舞台と同じように演じる」（幸四郎

氏) リアル感を観客に味わってもらうことにこだわったこと。観客のいないけいこ場ではあるが、通常の舞台公演「昼の部」と同じように午前 11 時に演じ初め、映像を生配信した。後で見たいという客のための視聴時間も翌日午後 11 時までと限った。



「凶夢歌舞伎 忠臣蔵」第 1 回配信で高師直を演じた松本幸四郎氏 (提供：松竹)

演目は、歌舞伎の名作「仮名手本忠臣蔵」。主君、塩冶判官を侮辱し切腹に追い込んだ高師直を大星由良之助ら旧家臣 47 人が討つという有名な演目だ。幸四郎氏は全十一段を全 5 回配信の新作として構成した。6 月 27 日に第 1 回「大序から三段目」が上演され、幸四郎氏は高師直を含め 3 役をこなしている。実際に俳優が演じるのを生配信するというのが特徴だが、舞台公演では不可能な演出が可能。「ZOOM」を使ったリモート画面をつなぎ合わせるなどの創意工夫により、観客の視点は一方向からのみという制約のある舞台では見ることができない数多くの場面が提供された。例えば、高師直ともう一人の重要人物である加古川本蔵が向き合うシーンを、幸四郎が二役を演じ分けて見せる場面や、にくにくしい高師直の姿をいじめられる塩冶判官の目線から映し出す、といったシーンだ。初日だけで 1,100 人が、生配信映像を楽しんだ、という。



「凶夢歌舞伎 忠臣蔵」第2回配信で大星由良之助(左、リアルタイム映像)と塩谷判官(右、収録映像)の二役を演じた松本幸四郎氏 (提供：松竹)

「凶夢歌舞伎 忠臣蔵」配信は、6月27日の初回から、7月25日の第5回までそれぞれわずか1週間の間隔を置いて配信された。第2回配信でも、幸四郎氏演じる大星由良之助が、塩谷判官（幸四郎氏の二役）の切腹に立ち会う場面がある。大星由良之助の方が配信時に実際に演じたリアルタイム映像で、塩谷判官は事前収録の映像だ。チケット代は1回目だけ、敵を討つ旧家臣の数47人にちなんで4,700円（税込み）で、7月4日の第2回から7月25日の第5回までは各3,700円。毎回、約1,100人が視聴したという。

記者会見で幸四郎氏は「凶夢歌舞伎は、新型コロナウイルスによってほかに選択肢がないという状況の中でやった。文化というのは、人々の日常生活に密着しているからこそ文化と言えると思っている。日常生活に入り込んでいるネットで配信することで、歌舞伎という引き出しがネットにも存在し得ることを示せたと思う」と手ごたえを語った。

「次の映像用の歌舞伎として、歌舞伎演出のドラマもつくりたい。舞台公演以外の場が広がることで、『来月は凶夢（ZOOM）歌舞伎に出る』といった会話が歌舞伎役者同士で交わせるようになれば、と願っている」という熱い思いも明らかにした。さらに「好きな時に見られる」というネット配信の長所を挙げると同時に、「お客さんが日常生活の中でわざわざ時間を割いて歌舞伎座まで足を運び舞台をみていただくことは、全く別の楽しみがあるはず。その日のために着物を着たり、幕間にお土産を買う。あるいは、歌舞伎座内の有名

料理店で食事するといったことだ。ネット配信があるから舞台を見にいかない、とはならないと思う」と、舞台とネット配信の両立に自信を示した。



「九月大歌舞伎」第1部開演前の歌舞伎座正面入り口（9月21日）

#### 5カ月ぶりの歌舞伎座公演再開

8月、新型コロナウイルス感染症対策として観客数を定員の半数に制限したものの、5カ月ぶりに歌舞伎座は再開する。「八月花形歌舞伎」（8月1日～26日）は異例の4部制とし、各部とも大道具担当者の作業が済んだ後、小道具担当者が入れ替わりに入って作業し、それらが終わった後、役者が入るといった形にして、それぞれは顔を合わさないようにした。観客に対してもマスク着用のほか、拍手はよいが「大向こう」と呼ばれる役者の屋号を叫ぶ行為は禁止という通常とは全く異なる制約が課された。通常の昼夜2部制ではあった幕間をとらなかったため、客はロビーで談笑したり物品を買うといった楽しむ時間も持てない。

幸四郎氏の出演演目は、第4部、ある年齢以上の日本人ならまず知らない人がいない「与話情浮名横櫛 源氏店」。主役の「切られ与三郎」役だった。「最初の出番の前に客席をそっとのぞくと、お客さんは誰もおしゃべりもせず、じっとして動かない。怖いくらいだった」。ところが花道から登場したとたんに三味線の音も聞こえないくらい大きな拍手が起き、舞台につくまでやまなかったという。「いやいや連れられて行く場面なので、花道はゆっくり歩かざるを得ない。しかし、あまりに拍手が大きかったので、舞台についての最初の有名なセリフを早く言いたくてたまらない。結局、『いやさお富、久しぶりだなあ』というセリフが早口になってしまった」。初日の思わぬ体験を笑いながら振り返った。

### 「高麗屋！」の掛け声を文字で

また、幸四郎氏はもう一つこれまで経験したことがない出来事を披露した。花道というのは歌舞伎特有の舞台構造で、舞台から客席を縦断する形で張り出した通路のようなものだ。役者が舞台後方の入り口から登場する場面と、逆に舞台から花道を通して客席後方に退出する場面に使われる。拍手が鳴りやまなかったのは、客席後方の入り口から登場して、舞台に到着するまでの間だった。幸四郎氏が花道に現れた直後、年配の男性客が振り向いて、幸四郎氏に見えるよう大きな紙を掲げたという。そこに書かれていたのは「高麗屋」という文字。掛け声が禁じられていたため、掛け声の代わりに、幸四郎氏の屋号を書いた紙を用意していたのだ。「実際に大向こうから声がかかったような気がして、感動した」。幸四郎氏はその時の気持ちを明かした。

新型コロナウイルスの影響は、舞台での演技方にも大きな変更を強いた。「手を直接取り合ってはいけない」、「向き合って会話をしてはいけない」といった要請からだ。「形を変えるのは正直さびしい思いがある」。こうした思いを明かす一方、「今、歌舞伎を上演するにはやむを得ないこと」として、むしろ率先して新しい演技方をした例を紹介した。「与話情 浮名横櫛 源氏店」は、与三郎とお富が抱き合って終わるのが通常だが、新型コロナウイルス感染対策のためできない。「手拭いをお富に投げてお富の手に巻き付けるということにした」

こうした制約の中で、歌舞伎座は9月も「九月大歌舞伎」（9月1日～26日）を公演し、10月も「十月大歌舞伎」（10月2日～27日）を予定している。さらに国立劇場でも「10月歌舞伎公演」（10月4日～27日）が決まっている。幸四郎氏は国立劇場の公演に出る予定。このほか名古屋市の御園座でも「錦秋御園座歌舞伎」（10月3～18日）が開催されるなど、歌舞伎界も徐々に平常の姿に戻りつつある。

「歌舞伎は400年の歴史の中で、不安な時代、恐怖の時代も生き抜いてきた。必要とされたから生き続けてきたと思う。今も必要とされるものであるようにするのがわれわれ歌舞伎役者の使命。1年12カ月どのような方法ならずと歌舞伎を上演していけるか知恵を絞って考え、行動を起こしていきたい」と、幸四郎氏は決意を語った。



出席者の数が制限された記者会見場で質問を受ける松本幸四郎氏（日本記者クラブ）

日文 小岩井忠道（客観日本編集部）

#### 関連サイト

日本記者クラブ 「『新型コロナウイルス』歌舞伎はいま 十代目松本幸四郎氏」

<https://www.jnpc.or.jp/archive/conferences/35709/report>

同「YouTube 会見動画」

<https://www.youtube.com/watch?v=r3ZRgmTsBaU&feature=youtu.be>

松本幸四郎オフィシャルサイト

<https://koshiro.jp/>

歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」 「【配役追記】 凶夢歌舞伎『忠臣蔵』、詳細決定」

<https://www.kabuki-bito.jp/news/6235/>

歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」 「公演情報詳細 八月大歌舞伎」

<https://www.kabuki-bito.jp/theaters/kabukiza/play/683/>

#### 関連記事

2020年06月04日 「【新型肺炎】日本演出及体育行业损失严重，估计将达6900亿日元」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_jingji/kgjp\\_jj\\_etc/pt20200604000003.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_jingji/kgjp_jj_etc/pt20200604000003.html)

2017年07月31日 「传统艺术能否继续生存？—歌舞伎的振兴和普及」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_baike/kgjp\\_bk\\_wenhua/pt20170731113155.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_baike/kgjp_bk_wenhua/pt20170731113155.html)

2016年10月24日 「歌舞伎8代目中村芝翫在浅草寺举行袭名游行」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_baike/kgjp\\_bk\\_wenhua/pt20161024103557.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_baike/kgjp_bk_wenhua/pt20161024103557.html)



2016年05月27日「超歌舞伎将传统艺术与最新技术相融合 吸引了众多年轻观众」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_baike/kgjp\\_bk\\_wenhua/pt20160527110411.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_baike/kgjp_bk_wenhua/pt20160527110411.html)